



文ゼミ

Mun Seminar



ゼミ後のコンパの様子

伊藤 和樹

文ゼミでは都市経済学や交通経済学に関する研究をしています。ゼミは毎週火曜 5 限に活動しており、毎年度前期には論文や書籍の輪読を行い、後期には 4 名程度のグループに分かれてのグループ研究を行っています。2022 年度前期は空き家問題についての論文や書籍を読み、グループ研究では「家賃に対する鉄道路線のブランド」や、「コンビニにおける共同配送の効果」、「都市空間における公開空地や屋上緑化の役割」といったテーマについて研究・発表・討論を行いました。グループ研究では一般の理論的・統計的手法は無論のこと、GIS を用いるなど幅広い分析手法が見られ、空間的要素と深く結びついた実社会の現象を経済学の観点から解き明かすことに取り組んでいます。グループ研究は様々なテーマを扱っており、文ゼミのサイト (www.econ.kyoto-u.ac.jp/~mun/practices.html) には過年度のものを含めて資料を掲載しておりますので、ぜひご覧いただければと思います。

また、グループ研究の成果は毎年 1 月に行われるインゼミで発表を行っており、23 年 1 月には東京大学佐藤ゼ

ミ、一橋大学藤嶋ゼミ、慶應義塾大学河端ゼミ、大阪大学山本ゼミと 5 大学合同でインゼミを開催しました。インゼミでは他大学のゼミのレベルの高い研究に刺激を受けるとともに、他大学の先生や学生たちからコメントをいただき、議論、交流を通じてグループ研究に対する新たな視点を獲得し、より良い研究につながりました。

ゼミ外の活動は COVID-19 に伴う各種の制限によりなかなか難しいところもありましたが、ゼミ後のコンパなどを通じてゼミ生同士の交流を深めてきました。かつては合宿やソフトボール大会なども行い、ゼミ生同士の交流は活発であったと聞き及んでおります。

近年文ゼミからは毎年のように一定数の学生が大学院の短期修了生に選ばれ、大学院に進学しています。そしてその大学院生が TA としてゼミに携わるという循環の中で、アカデミックな雰囲気醸成されたゼミでした。

最後にはなりますが今まで大変お世話になった文先生にこの誌面を借りて改めて御礼申し上げさせていただきます。本当にありがとうございました。